

令和元年度 知的パンレットワーキング 振り返りシート

R2年2月7日作成

【活動方針】

平成29年度にワーキングを立ち上げ、地域で生活する当事者の紹介や、Q&Aを盛り込んだパンフレットを作成した。障害者支援施設(5ヵ所)及び相談支援事業所にパンフレットを配布し、地域生活の情報提供に活用してもらうこととした。
平成30年度を活用期間とし、今年度はモニタリングを行う。

【取り組み内容】 ※具体的な活動内容及び結果を記載する

開催回数	4回	開催月	6月、8月、9月、12月
------	----	-----	--------------

・入所施設、相談支援事業所に、パンフレットの活用状況の確認を行った。
・入所施設で活用できていない状況(施設から追い出されるとわかってしまう)がわかったため、入所施設でも活用しやすいようにパンフレットを修正した(入所施設も含めた地域の中で、どこでだれと暮らしたいかを考えてもらうきっかけにできる内容とした)。
・「知的障害者」、「施設入所者」に限らず、将来の生活を考える際など幅広く活用できるパンフレットであるため、入所施設、相談支援事業所に加え、総合支援学校、サービス提供事業所にも配布することとした。

【メンバーの感想・意見(協議会活動を通じての振り返り)】

協議会での活動を通じての成果や気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、協議会の運営や体制に関する課題・意見等。

・他の施設の方等と交流し、情報交換等ができ、貴重な時間を過ごすことができた。
・前任者からの引継ぎで参加したが、途中から加わる難しさを感じた。ワーキングの成り立ち、経緯等を把握する時間が必要だった。
・各ワーキングには、適任者が必要であると思った。
・他のワーキングとも情報交換を積極的に行うことも必要であると思った。
・数回での活動であったが、なかなか全員が集まる日が少なかった。
・入所施設からの地域移行が進んでいない状況の中スタートしたワーキングであったが、パンフレットの作成、修正を行い、活動は良かったと思う。各施設の地域移行の取り組みがほとんどされていない中、各施設での現状とワーキングでの内容が合っていないので、違和感があったのではないかと。
・パンフレットを作成しても、活用できないのではないかと。市内の入所施設で地域移行の現状や今後の取り組み等の検討の場があるといいと感じた。相談支援事業所で今後活用が行えるようにしていきたいと思う。
・初めて参加し、協議会の取り組みについて知るきっかけとなり、とても勉強になった。
・全員が揃う機会が少なかったことで、話し合いが十分にできなかったことは残念だった。
・パンフレットの趣旨自体に入所施設の実情との相違を感じたままの参加であった。入所施設では、地域移行に向けた取り組みを行っていかなくてはならない中で、入所施設が適切である、地域での生活が今難しいと思われる方々が生活しており、現在の福祉サービスの中で、地域移行できる方は少ないのではないかと、という思いを感じながら参加していた。そのため、パンフレットの活用方法や見直しについて、積極的に意見を出すことができなかった。最終的にはパンフレット自体はとても良いものができると思うので、様々な場面で活用していきたいと思う。
・入所されている重度の知的障害の方が、少しでも地域に密着して生活するためにはどうしたらよいか、どのようなサービスがあると実現するのか、などを考える良いきっかけになった。
・パンフレットが完成形になった。今回のワーキングのように、取り組みが継続していくものについては、パンフレットのデータ様式を誰もが修正できるものにすることや、ワーキングの検討した流れや、当初作成したパンフレットのコンセプト等がわかるようにしておけると、修正する際に、どのように変えるかも検討しやすいと思う。
・パンフレットを活用し続けてもらうことが難しいと感じた。

協議会の機能： 情報機能、調整機能、開発機能、教育機能、権利擁護機能、評価機能

【来年度の取り組みについて】

継続する場合（モニタリングも含む）	
活動方針（案）	
取り組み内容	
引き継ぎ事項等	

終了する場合	
理由等	モニタリングを踏まえてパンフレットを修正し、2月に配布予定。